

長崎県 中対馬圏域 総合水産基盤整備事業計画

1. 圏域の概要

(1) 水産業の概要

① 圏域内に位置する市町村および漁業協同組合の概要

当該圏域は、対馬島の中部に位置し、水産業が基幹産業となっている。漁業協同組合は、平成19年4月1日に豊玉町漁協、対馬浅海漁協、峰町西部漁協の合併により、豊玉町漁協が発足し、美津島町高浜漁協、美津島町漁協、美津島町西海漁協、峰町東部漁協と併せて5協同組合がある。漁協合併については、現在のところ予定はない。

② 主要漁業種類、主要魚種の生産量、資源量の状況

当該圏域では、一本釣り、イカ釣り、定置網、養殖業等多様な漁業が営まれ、主要な魚種は、イカ類、マグロ、ブリなどであり、クロマグロの養殖は急速に拡大している。

一方、当該圏域を含む対馬市の漁業生産量は減少傾向で推移しており、良好な資源状況とはいえない。このような中で、当該圏域では、魚礁や築磯の整備、磯焼けが進む沿岸の藻場等、漁場の保全に努めながら、カサゴ・クエなどの種苗放流を行うなど、栽培漁業に熱心に取り組んである。資源管理については、捕獲禁止アワビ10cm、サザエ2.5cm、ブリ15cmやアマダイのはえ縄及び立縄漁業における休漁日の設定と使用漁具の制限などに取り組んでいる。

③ 水産物の流通・加工の状況

対馬地区で水揚げされた水産物は、約7割が県外に出荷され、そのうちの大半が福岡県へ出荷となっている。代表的な加工品は、アジの開きがあり、対馬島内のほか福岡県へ出荷されている。その他、イカの一晩干しは、島内外に出荷されている。当圏域内の尾崎漁港の養殖クロマグロは福岡県をはじめとした国内各地へ流通されるほか、中国、アメリカ等へ輸出されている。

④ 養殖業の状況

当該圏域では、クロマグロ及び真珠養殖が盛んに行われており、安全に陸揚げ・給餌作業等が出来る施設整備を行っている。陸揚量も年々増加傾向にあり、養殖業がもたらす効果は大きい。

⑤ 漁業経営体、漁業就業者（組合員等）の状況

当該圏域における漁業組合員数は令和1年末で、正組合員 693 人、準組合員 992 人と近年では減少傾向にある。今後も減少・高齢化の傾向は続くものと見込まれるが、対馬市漁業就業実践研修事業補助金を利用し、Uターン・Iターンで新規参入する若者もあり、その増大が期待されている。

⑥ 水産業の発展のための取組

カキの養殖・増殖に取り組んでいるほか、真珠養殖を行っている。平成20年に策定された「長崎県マグロ養殖振興プラン」による養殖漁場の拡大を図る取り組み等により、尾崎漁港では10経営体が約120基（直径20m）の生簀を設置し、クロマグロ養殖に取り組んでいる。

そのほか、鮮度保持のために水氷、船上活き氷を行い、個々人が水揚げした水産物を漁協が規格毎に箱詰めし、品質の安定を図っている。さらには、安定的に水産物を供給出来るよう出荷調整用の生け簀を利用している。

⑦ 水産基盤整備に関する課題

水産基盤整備に関しては、高齢化する漁業者や女性が安心して働くことのできるような施設の整備、水産物の鮮度保持施設及び、安定供給に向けた安全係船岸の確保などの整備を急ぐとともに老朽化が進行している既存施設のライフサイクルコストを抑えながら長寿命化を図り、今後の漁業生産力を維持していくことが課題となっている。

また、同時に既存漁港施設の機能分担を図りながら、インフラストックを有効活用することが必要とされている。

さらには、水産資源の維持・回復に向け、資源管理や栽培漁業等と連携した漁場の整備が求められている。

⑧ 将来的な漁港機能の集約化

当該圏域においては、現在のところ各漁港の統合、廃止等はないものの、漁業者の高齢化による減少や、給油、給氷施設など既存施設の老朽化に伴い、今後、機能分担や集約化が進んでいくことが予想される。対馬で唯一船舶が東西に移動できる万関瀬戸に位置している三浦湾漁港が集約の拠点となる見込みである。

(2) 圏域設定の考え方		
① 圏域タイプ	外海離島型	設定理由；良好な漁場に近接する外海に位置する離島で、前線基地として水産物の安定・向上を目指す。
② 圏域範囲	第1種漁港：20 第2種漁港：4 第3種漁港：なし 第4種漁港：2 特定第3種漁港：なし	設定理由；近接した良好な漁場で水産物を確保し、その水産物を島内外の市場等へ出荷している対馬島中部に位置する範囲
③ 流通拠点漁港	三浦湾	設定理由；三浦湾漁港は、集出荷・準備・休憩・避難機能を有するとともに、地先漁業生産機能・増養殖蓄養強化機能を有している。 主な漁業は、あぐり網、いか釣りであり、イカ、ぶりが主に陸揚げされている。ぶりは、圏域内での陸揚量の約16%を占めており、沿岸漁業の陸揚港としての役割が大きい。 三浦湾漁港は、対馬で唯一船舶が東西に移動できる上対馬と下対馬を2分している万関瀬戸に位置していることから、船舶の往来も多い。近隣の漁港で陸揚げした出荷物を本漁港に集約して出荷を行っており、本漁港でも多くの漁船が陸揚げを行う水産物の流通の拠点である。
④ 生産拠点漁港	千尋藻、尾崎、西海、高浜、根緒、鴨居瀬、佐賀、水崎	設定理由；千尋藻漁港は、集出荷機能・準備・休憩機能・地先漁業生産機能・増養殖蓄養強化機能を有している。イカ釣りが主な漁業であり、イカが主に陸揚げされている。現在、イカは圏域内で陸揚量の約12%を占めており沿岸漁業の陸揚港と

		しての役割が大きい。 尾崎漁港は、集出荷機能・準備・休憩機能・地先漁業生産機能・増養殖蓄養強化機能を有している。海面養殖業、定置網が主な漁業であり、マグロが主に陸揚げされている。マグロは圏域内の陸揚量の約 52%を占めており沿岸漁業の陸揚港としての役割が大きい。 西海漁港は集出荷機能・休憩機能・地先漁業生産機能・増養殖蓄養強化機能を有している。海面養殖業、あぐり網が主な漁業であり、マグロが主に陸揚げされている。マグロは圏域内の陸揚量の約 32%を占めており沿岸漁業の陸揚港としての役割が大きい。 高浜漁港は、集出荷機能・準備・休憩・避難機能・地先漁業生産機能・増養殖蓄養強化機能を有している。はえなわ、一本釣りが主な漁業であり、ブリが主に陸揚げされている。ブリは圏域内で陸揚量の約 30%を占めており沿岸漁業の陸揚港としての役割が大きい。 根緒漁港は、集出荷機能・準備・休憩機能・地先漁業生産機能・増養殖蓄養強化機能を有している。はえなわ、あぐり網が主な漁業であり、ブリ、タイが主に陸揚げされている。現在、ブリは圏域内の陸揚量の約 13%、タイは約 25%を占めており沿岸漁業の陸揚港としての役割が大きい。 鴨居瀬漁港は、集出荷機能・準備・休憩・避難機能を有するとともに、
--	--	--

		地先漁業生産機能・増養殖蓄養強化機能を有している。 主な漁業は、かご漁業、一本釣り、定置網であり、マグロ、イカが主に陸揚げされている。イカは、前計画では圏域内での陸揚量の約 10%、現在では約 5%と下がったものの、沿岸漁業の陸揚港としての役割が大きい。また、荒天時における漁船の安全性は確保されている。 佐賀漁港は、集出荷機能・準備・休憩・避難機能を有するとともに、地先漁業生産機能・増養殖蓄養強化機能を有している。 主な漁業は、いか釣り、定置網であり、イカが主に陸揚げされている。イカは、前計画・現在ともに圏域内での陸揚量の約 20%を占め、沿岸漁業の陸揚港としての役割が大きい。また、荒天時における漁船の安全性は確保されている。 水崎漁港は、集出荷機能・準備・休憩・避難機能を有するとともに、生活基盤確保機能、地先漁業生産機能・増養殖蓄養強化機能を有している。 主な漁業は、かご漁業、延縄、一本釣りであり、マグロ、サバ、さざえが主に陸揚げされている。さざえは圏域内での陸揚量の約 16%を占めており、沿岸漁業の陸揚港としての役割が大きい。また、荒天時における漁船の安全性は確保されている。
⑤ 輸出拠点漁港	該当なし	設定理由；

⑥ 養殖生産拠点地域	中対馬（尾崎、西海、鴨居瀬、芦ヶ浦）	設定理由； 尾崎、西海地域は、クロマグロ類養殖の生産・流通を一体的に行っている地域であり、海面養殖業産出額が4,232 百万円に上る地域である。 鴨居瀬、芦ヶ浦地域は、真珠養殖の生産・流通を一体的に行っている地域であり、海面養殖業産出額が2,822 百万円に上る地域である。
------------	--------------------	--

(令和 1 年)

圏域の属地陸揚量(トン)	6388.4
圏域の総漁港数	26
圏域で水産物の水揚実績がある港湾数	3

圏域の登録漁船隻数(隻)	2,302
圏域内での輸出取扱量(トン)	

当該圏域を含む養殖生産拠点地域名	中対馬圏域
当該圏域を含む養殖生産拠点地域における主要対象魚種	クロマグロ、真珠
当該圏域を含む養殖生産拠点地域における魚種別生産量（収穫量）(トン)	クロマグロ 1,722 トン、真珠 3.9 トン
当該圏域を含む養殖生産拠点地域における魚種別海面養殖業産出額(百万円)	クロマグロ 4,232 百万円、真珠 2,822 百万円

2. 圏域における水産基盤整備の基本方針

(1) 産地の生産力強化と輸出促進による水産業の成長産業化

①拠点漁港等の生産・流通機能の強化

漁港間の機能分担を図りながら、防波堤の新設や浮桟橋、岸壁屋根の設置を行い、地における水産物の価格形成力の向上と生産・流通コストの縮減を図る。

②養殖生産拠点の形成

当該圏域については、クロマグロや真珠養殖が行われており、安心・安全に給餌作業等できる静穏水域の確保及び生け簀の補修・修繕作業のための施設確保に努め養殖業の発展を目指している。養殖業の作業効率を改善するため、水産基盤整備事業において防波堤、岸壁等の整備を行う。

(2) 海洋環境の変化や災害リスクへの対応力強化による持続可能な漁業生産の確保

①環境変化に適応した漁場生産力の強化

当該圏域を含む対馬地区の漁業生産量については、近年減少傾向にあり、また、令和3年度に県下全域で実施した藻場分布調査では、海水温の上昇が原因と思われる藻場面積の減少が確認され、今後の資源の悪化が懸念されている。そのため、水産資源の回復・増大を図るため、漁業者等が自主的に行う資源管理等の取り組みと連携しながら、沿岸から沖合いまで水産生物の成長に合わせた漁場づくりや環境の改善を実施、併せて増殖場の整備効果を確認するため、潜水調査やサンプリングによる餌料生物や魚類、藻類等の生育状況を継続的にモニタリングし、必要に応じ、植食性生物の駆除や藻類種苗の追加等の対策を講じる。

②災害リスクへの対応力強化

大規模な自然災害に備えた重要施設の機能強化を図るとともに、老朽化が進行している漁港施設は、今後維持補修や更新に係るコストが増大すると考えられるため、予防保全的な対策を施すことで施設の長寿命化を進め、将来の維持補修の更新に係るコストの縮減を図る。

生産拠点漁港においては、地震及び台風・爆弾低気圧等での主要施設の被害を最小限にとどめるため、最新のデータによる診断を行い、最低限の漁業活動が継続されるように改良を行う。

(3) 「海業」振興と多様な担い手の活躍による漁村の魅力と所得の向上

①「海業」による漁村の活性化

既存施設のストック効果を推進し、遊漁船の発着等の既存施設の有効活用により、漁村の賑わいの創出を図る。

②地域の水産業を支える多様な人材の活躍

高齢者や女性が安心して働くことのできる環境を整え、安定した漁業生産量を確保し、生産コストの縮減を図る漁港施設の整備を行う。

強風時や潮位差の影響を受ける状況においても漁獲物の陸揚げ作業を安全かつ効率的に行えるよう必要な施設の整備や既設施設の改良等を行う。また、荒天時においても漁船が安全に係留できるような施設の整備を行い、他港避難の解消を図る。

3. 目標達成のための具体的な施策

(1) 産地の生産力強化と輸出促進による水産業の成長産業化

①拠点漁港等の生産・流通機能の強化

地区名	主要対策	事業名	漁港名	種別	流通拠点
三浦湾	流通機能強化	水産生産	三浦湾	2	○

高浜	流通機能強化	水産生産	高浜	1	
根緒	流通機能強化	水産生産	根緒	1	

産地における水産物の価格形成力の向上と生産・流通コストの削減を図るため、防波堤の新設を行う。

②養殖生産拠点の形成

地区名	主要対策	事業名	漁港・漁場名	種別	流通拠点
尾崎	養殖拠点	水産生産	尾崎	2	
西海			西海	1	
鴨居瀬	養殖拠点		鴨居瀬	2	
芦ヶ浦			芦ヶ浦	1	

養殖業の作業効率を改善するため、防波堤、岸壁等の整備を行う。

(2) 海洋環境の変化や災害リスクへの対応力強化による持続可能な漁業生産の確保

①環境変化に適応した漁場生産力の強化

地区名	主要対策	事業名
対馬	環境変化、資源管理、藻場・干潟	水産環境整備事業

水産資源の維持・回復を図るため、種苗放流や禁漁区の設定など資源管理の取り組みと連携しながら、沿岸域に幼稚仔魚の餌場や隠れ場、成育の場となる増殖場を整備し、その沖合には効率的な漁獲が可能となるよう魚礁漁場を整備することにより、魚の成長に合わせた漁場づくりを行う。

②災害リスクへの対応力強化

地区名	主要対策	事業名	漁港名	種別	流通拠点
三浦湾	予防保全	機能保全	三浦湾	2	○
水崎	安全・安心	機能強化	水崎	4	
大船越	安全・安心	機能強化	大船越	1	
志多賀	予防保全	機能保全	志多賀	1	
志越	予防保全	機能保全	志越	1	
櫛	予防保全	機能保全	櫛	1	

漁業地域の安全・安心の確保のため、漁港施設の予防保全型の老朽化対策や、生活航路に係る係留施設の耐震化を行う。

(3)「海業」振興と多様な担い手の活躍による漁村の魅力と所得の向上

①「海業」による漁村の活性化

地区名	主要対策	事業名	漁港名	種別	流通拠点
三浦湾	活用促進	機能保全	三浦湾	2	○
志多賀	活用促進	機能保全	志多賀	1	
志越	活用促進	機能保全	志越	1	
櫛	活用促進	機能保全	櫛	1	

既存施設のストック効果を推進し、遊漁船の発着等の既存施設の有効活用により、漁村の賑わいの創出を図る。

②地域の水産業を支える多様な人材の活躍

地区名	主要対策	事業名	漁港名	種別	流通拠点
佐賀	就労環境	水産生産	佐賀	2	
鴨居瀬	就労環境	機能増進	鴨居瀬	2	
三浦湾	就労環境	水産生産	三浦湾	2	○
水崎	就労環境	漁村再生	水崎	4	
千尋藻	就労環境	漁村再生	千尋藻	1	
狩尾	就労環境	漁村再生	三根	1	
小綱	就労環境	漁村再生	小綱	1	
大綱	就労環境	漁村再生	小綱	1	
唐州	就労環境	漁村再生	唐崎	1	
廻	就労環境	漁村再生	唐崎	1	
今里	就労環境	漁村再生	西海	1	
昼ヶ浦	就労環境	漁村再生	西海	1	
賀谷	就労環境	漁村再生	賀谷	1	

女性や若者から高齢者までの幅広い世代が安全で働きやすい環境づくりを行うため、防波堤の新設や防風施設、浮体式係船岸の整備、漁船の係留や水揚げ、準備作業の軽労化を図る。

4. 環境への配慮事項

藻場は、多種多様な生物の産卵の場や幼稚魚の成育の場、海水の浄化など多様な機能を有しているが、近年「磯焼け」の拡大による藻場の消失が進行している。

このため、漁業資源の回復には藻場回復を計画的、効果的に進める必要があるとの地域の漁業関係者が共通認識の下、10年後の回復目標を定めた「長崎県藻場回復ビジョン」（平成28年7月）に基づき、関係者が一体となってソフト事業、ハード事業の両面から総合的な藻場回復に取り組んでいく。

ソフト事業の面では、漁業協同組合を中心に「藻場見守り隊」を設置し、回復目標に向けた長期及び各年度の活動計画を定めた「地域藻場回復計画」を策定して地域別、藻場の状況別に対応策を講じることとし、ハード事業の面では、藻場見守り隊の活動に呼応して、藻場繁茂の基質と核藻場礁を整備する増殖場の整備事業を実施し、さらに磯焼け対策緊急整備事業等を活用して早期の藻場機能の発現を促し、藻場の拡大と早急な資源回復を図るとともに、漁港施設においても環境配慮型ブロックの設置等を推進して、漁場環境の改善を進める。

5. 水産物流通圏域図

対馬

長崎県_水産物流通圏域図(上対馬圏域、中対馬圏域)

上対馬圏域

外海離島型

圏域総陸揚量: 3,210 t
圏域総陸揚金額: 26.9 億円
漁港: 17港, 港湾: 4港



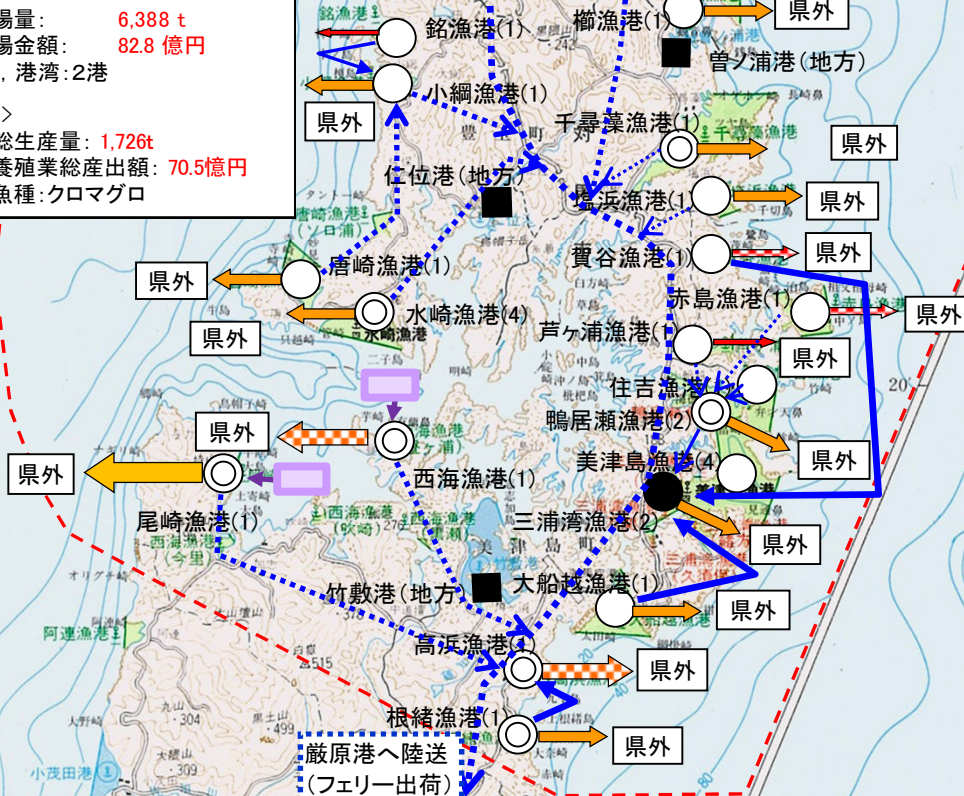
中対馬圏域

外海離島型

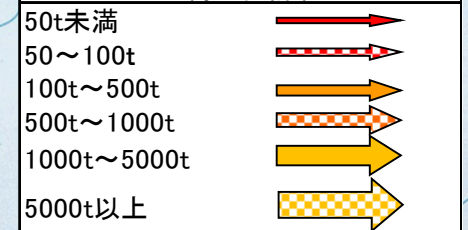
圏域総陸揚量: 6,388 t
圏域総陸揚金額: 82.8 億円
漁港: 26港, 港湾: 2港

<養殖生産>

圏域養殖総生産量: 1,726t
圏域海面養殖業総産出額: 70.5億円
主要養殖魚種: クロマグロ



出荷凡例詳細



- : 流通拠点漁港 (うち流通・輸出拠点漁港)
- ◎: 生産拠点漁港 (うち流通・輸出拠点漁港)
- : 一般漁港
- : 港湾 (漁業関係の利用がなされている主要な港湾のみ)
- ☆: 産地市場
- 漁業: 主な魚種 (主な漁業種が、(巻き網・底引き網等))
- 水産物集約 (漁船陸揚げ)
- 水産物集約 (陸送)
- 加工場・消費地への出荷 (主な出荷先として、圏域内、圏域外の県内、県外を示す。輸出している場合は、輸出先の国等を示す。)
- 養殖に係る水産物の流れ
- 養殖漁場